

無料 いのち・くらし・雇用

「なんでも相談」

実行委員会ニュース 第151号 2018.5.24

中野共立病院・中野共立診療所有志「無料 いのち・くらし・雇用 なんでも相談」実行委員会

定例の「なんでも相談会」を開催しました

5月24日(木) 17:30より、通算89回目となる「なんでも相談会」を中野駅北口広場で開催しました。医療相談5、法律相談3、労働相談1、の計9件の相談がありました。参加スタッフは、職員15、区議1、弁護士3、代々木総合法律事務所事務局の方1、医学生1の計21名でした。

医療相談：5件

相談会が始まってすぐ来られたのは、74歳女性。83歳の夫が胆管ポリープで組織検査した結果、おそらく癌であると診断を受け、余命半年と言われた。できれば共立に入院したいと相談に来られた。相談に乗った職員から、現在の病状を医師に確認したうえで家族の希望を伝え、治療方針などを相談していくようにとお話した。中野共立病院でも病状によっては受け入れることが出来るかもしれないが、がんの専門病院では無いためそれがご主人にとって良い選択かどうか検討が必要。今後、必要に応じて関わっていくこととした。

労働相談：1件

40代男性は、賃金未払いで相談に。規定の労働時間に達しなければ減給、といった対応もあったそう。残業代もらえないので残業はしないと行ったところ、解雇になった。いさ区議と繋がり、今後も継続して相談に乗っていくこととなった。

法律相談：3件

生保を今後申請する予定だという40代男性は、4~5年前に生活に困り銀行口座を売却したという。何に使われているかは把握していないが、振込み詐欺などに使われた場合、罪になるのか？資産調査で口座確認されたら、どうしたらいいか？と相談に来た。まずは正直に話すこと。万一刑事事件になった場合は、別途相談をお願いした。



次回は6月28日(木) 17:30~です。ぜひご参加下さい。

【実行委員、当日メンバー随時募集中】

手伝って頂ける方、お近くの実行委員までご連絡下さい。

※現在の実行委員

医師：谷川智行

MSW：募集中

看護師：渡辺由絵・山本尊子

事務：横山由希子・大野菜々子・岡崎志歩・松本明彦